

浜松市生きものパートナーシップ協定締結式について

浜松市では環境保全活動の担い手として市民や事業者が取り組みやすい場の創出が課題となっています。この課題に対して、生物多様性はままつ戦略2018では、市民・事業者・行政がつながる取り組みとして浜松市生きものパートナーシップの構築を掲げています。

このたび、本協定の第3号として、北区引佐町井伊谷正楽寺ビオトープの保全について、造園管理辰美園、正楽寺及び本市の3者にて締結式を開催します。当日は井伊谷小学校児童もリモートで参加します。

【日時】 令和5年4月26日（水）10:00～10:45

【場所】 鴨江分庁舎2階会議室（中区鴨江三丁目1-10）

【協定概要】

造園管理辰美園は、造園業に加えビオトープ整備にも事業を拡大したいと考えており、自身の知識、技術を高め、社会貢献できる場を求めていました。

正楽寺は、北区引佐町井伊谷正楽寺ビオトープの維持管理を常葉大学名誉教授山田辰美氏の指導の下で行っています。また、株式会社富士通ゼネラル様のご厚意により提供されたヤリタナゴを、井伊谷小学校児童とビオトープに放流し、希少種保護、環境教育も行っています。近年は、会員の高齢化により、継続的な保全活動ができる新たな担い手を求めていました。

そこで、造園管理辰美園、正楽寺及び浜松市は、協働によって正楽寺ビオトープの生物多様性保全の取り組みを進めるため、浜松市生きものパートナーシップ協定を締結します。

【出席者】

- ・造園管理 辰美園 代表取締役 渥美 毅 様
- ・正楽寺 会長 影山 喜由 様
(アドバイザー)
- ・常葉大学 名誉教授 山田 辰美 様
(ヤリタナゴ・マツカサガイ個体提供)
- ・株式会社富士通ゼネラル 所長 有留 健治 様
(ビオトープでの活動)
- ・井伊谷小学校児童
- ・浜松市 環境部部長 山田 英二